

図7 各段階における対策一覧

		未発生期	海外発生期	国内発生早期	国内感染期	小康期	再燃期
			県内未発生期		県内発生早期		
サーベイランス体制	患者数	○ 岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス(県内約300定点によるインフルエンザ患者の把握)			→		
		→ 新型インフルエンザ等患者全数把握					
	入院者	○ 入院サーベイランス(県内5医療機関によるインフルエンザの入院者の把握)			→		
		→ 入院患者の全数把握					
	ウイルス	○ ウイルスサーベイランス(流行するインフルエンザのウイルスの性状の把握)			→		
		→ 新型インフルエンザ等患者(疑いを含む)全数PCR等検査					
	集団発生	○ 学校サーベイランス(学校におけるインフルエンザ様症状による欠席者、休業状況の把握)			→		
		→ 対象施設の拡大・臨時休業以外の集団発生の把握			→ 再強化		
医療提供体制	外来	帰国者・接触者外来			すべての医療機関が対応 ※在宅療養患者への支援 ・ファクシミリによる処方 ・訪問看護 等	通常の医療体制 再燃期の準備	
		→ 新型インフルエンザ等患者	→ 新型インフルエンザ等患者以外				
	入院	→ 感染症指定医療機関		→ 入院医療機関	→ 入院医療機関		
相談体制	トリアージ	帰国者・接触者相談センターの設置					
	一般	○ コールセンターの設置			→ 状況に応じ、順次縮小		
予防・まん延防止		濃厚接触者の外出自粛、健康観察等					
		医療従事者等への 基本的な感染対策(マスク、咳エチケット、手洗い等)の勧奨 有症者の出勤・出席停止、受診勧奨 学校等の臨時休業(学校単位)					
		<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">緊急事態宣言</div> <特措法による措置(地域単位)> 不要不急の外出の自粛 イベント等の中止、延期 学校等の臨時休業、入学試験の延期			県内感染期では、特別な状況(患者数の増加が地域医療のキャパシティを超え、死亡者の		
ワクチン		○国の方針等を基に、県民が速やかに接種できるよう県、市町村、県医師会、医薬品卸売業者が連携し、体制を整備のうえ、実施					
県民の生活及び経済の安定の確保		事業者に対し、従業員の健康管理及び職場における感染予防策を行うよう依頼					
		県民に対し、消費者としての適切な行動を呼びかけ					
		<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">緊急事態宣言</div> 生活相談窓口の設置 指定(地方)公共機関の業務計画実施、登録事業者の業務継続 緊急物資の運送の要請等、生活関連物資の価格の安定、犯罪の予防・取締り等 物資の売渡しの要請等、火葬・埋葬の特例措置、生活支援 事業者への金融支援等					